

# 「開かれた総合水試」いきいき情報発信事業

事務局：企画開発推進室

コンピュータシステムを利用して、水温情報、漁獲情報、魚病情報等の水産研究にとって有用な各種の情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」として、蓄積された情報をもとに各種情報の発信に努めた。

また平成19年度も、昨年度に引き続き、漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、移動水試（出前水試）等を開催した。

## 1) 試験研究情報の収集

### (1) 魚病情報データベース

県内各地の魚病発生情報を収集し、データベースへ211件登録した。

魚病データベース累積件数 合計 3,248件

### (2) 海況データベース

県内各海域の海況情報を収集し、データベースへ18,368件登録した。

海況データベース登録件数 合計 245,387件

## 2) 試験研究情報の発信

### (1) インターネットによる情報発信

インターネット上にホームページを開設し、以下の情報の提供を実施した。

(ホームページの主な内容)

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 漁海況情報
- 人工衛星画像
- 最新の試験研究話題のコーナー
- マリンラボニュース
- トピックス
- インターネットmamパーク 等

平成19年度来訪者アクセス回数 延べ 21,068人

### (2) 音声・FAX情報サービス

音声・FAX情報サービスの運用を行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報

### ○赤潮情報

システムによる情報発信件数 計 4,292件

## (3) 情報誌の発行

平成20年3月に「最近の主な成果」（平成19年度版）を発行し、漁協等関係機関へ配付した。

## 3) 移動総合水産試験場の開催

漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に移動総合水産試験場を開催しており、平成17年度からは、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて開催することとし、県内4地区で移動総合水産試験場「出前水試」を開催した。

○新上五島町：平成20年2月14日

参加者数：52名

○佐世保市相浦町：平成20年2月22日

参加者数：14名

○対馬市上対馬町：平成20年3月3日

参加者数：42名

○平戸市獅子町：平成20年3月12日

参加者数：26名

合計 134名

各会場とも活発な質疑が交わされ、また研究課題に対する意見や要望等も寄せられ、非常に有意義な催しとなった。



(平成20年2月14日 新上五島町会場)

#### 4) その他

##### (1) ながさき水産科学フェアの開催

当水試がある新長崎漁港地区の国際海洋研究ゾーンに隣接する、(独)水産総合研究センター西海区水産研究所と長崎大学環東シナ海海洋環境資源研究センターと共催で「第5回ながさき水産科学フェア」と「イルカとクジラのシンポジウム」を10月に開催した。

三機関では、施設を開放し、各種の水産関係の体験や施設の見学等のイベントを行うとともに、サイエンスカフェを開催した。

当日の参加者は、760名で三機関の試験研究活動や水産業への興味と理解を深めていただいた。また、前日に開催した「イルカとクジラのシンポジウム」への参加者は90名であった。



(平成19年10月21日 第5回水産科学フェア)

##### (2) 少年水産教室の開催

県央水産業普及指導センターと共催で、長崎市立大浦小学校5年生95名を対象に、「ながさきの水産業」と「総合水産試験場の紹介」をテーマに少年水産教室を開催した。



(平成19年10月12日 少年水産教室)

##### (3) 記者室投げ込み等

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝え、成果の普及を図ることを目的に、記者室投げ込み等の広報活動を行った。

平成19年度記者室投げ込み件数                    10件  
(担当：伊東)